



ひまわり通信

日本共産党
市川市議員

ひろたのりこ
廣田徳子



日本共産党控室
市川市八幡1-1-1
334-1111 (4592)
塩焼2-2-1-311
397-7836 (夜間)

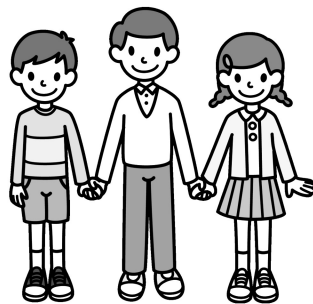
2016. 8. 21 NO.23

核兵器のない世界を

今年も暑さの中、平和行進が行われました。行徳コースは7月30日。南行徳駅を出発し、行徳駅では署名宣伝行動や歌を歌ったり、にぎやかにおこなわれました。妙典駅近くのふれあい館で昼食を食べながら、平和の大切さをかたりながら交流しました。



7月26日市川平和行進、市役所第2駐車場で出発式後行進準備の様子



「保育園落ちたの、私たちの孫だ」 市川市への異議申し立てに同席しました

今年2月、「保留通知書」(保育園に入所できないことを伝えるもの)を受け取った市民Aさん夫妻が、市川市に対して異議申し立てをしました。私は補佐人として同席しました。

Aさんが異議申し立てをした理由は、以下の通りです。

- ①入園の審査基準が明らかでない
- ②申し込み児童についていかなる具体的理由で入園不承諾になったか明らかでない
- ③児童福祉法第24条3項にいう「やむを得ない事由」がないのに不承諾としている
- ④「保育に欠ける」状態にある児童を不承諾にしたことで保育を受ける権利を侵害され、さらには親の働く権利までが奪われ、転居を考えなければならぬ

またAさんは、口頭による意見陳述を要望しました。口頭陳述には、仕事で出席できないAさん夫妻に代わり、祖父母が代理人として出席し発言し、

私は、補佐人として同席しました。口頭陳述は、こちらから一方的に意見を述べただけで、質問をすることなどは認められていません。異議申し立てしたからといって、結果がすぐ変わるわけではなく、準備に時間もかかりませんが、Aさんは「市内には1000人を超える待機児童がいて、両親はみな同じ思いをしているでしょうし、市には私たちの事情を分かってもらいたい。保育行政が少しでもよくなればと思っただけで行動を起こした」と語っています。

私は市の担当者、Aさんの切実な思いを受けとめてほしい、待機児解消の緊急プランを保育の質を向上させつつ早期に実現してほしいと要望しました。「保留通知書」を受け



た人が異議申し立てをすると、「保留」状態でなくなり、申請が取り消されます。Aさんはもう一度、申請をやり直さなければならなくなりました。さまざま検討したAさん夫婦は、市川市から転出するという苦渋の選択をしました。待機児ゼロを一日も早く実現させ、Aさんのような苦しい体験もゼロになるよう、私も全力ががんばります。

8月2日～4日
市議団視察

教育、地域経済などについて学びました

新庁舎建設・教育問題、道の駅・空き家活用、地場産業の発展

(高知高知市)

(高知県四万十市)

(愛媛県西条市)



高知市役所の新庁舎建設に当たり、小・中・高校生の様々な視線、全国の庁舎のいいところや改善されたところを学び、繰り返されたワークショップ。中にはドイツの国会議事堂、建物の上にはドーム型のガラスで自然の光が入る仕組みも紹介。地震による液状化対策や利用者の声、再生可能なエネルギーの活用や省エネの技術を最大限に生かし、高知市のシンボルとなるようにと多くの声を取り入れ今まさに建設中。市川市でも第2庁舎が建設中です。市民の声が届いているのでしょうか、安全対策や省エネ対策など市民に知らせているか疑問が残ります。

四万十市の空き家活用は他県、他市からの移住者を募集、移住ツアーで四万十市の生活を体験するとともに空き家所有者との懸け橋となるNPO法人と連携し、地方都市の人口減少は深刻。まち・ひと・しごと創生大臣・総合戦略を策定し取り組んでいる。



今年4月スタートした道の駅「よつて西土佐」は何年も前から、官民連携・協働し目的や将来の収支、商品売るだけでなく、道の駅が観光客のみならず住民の拠り所としての発展を目的に進められてきた。市川市でも外環の完成に伴い道の駅が計画されているが、はたして目的や将来に向けてのビジョンがあるのか。地方と違い、全国の物産もいつでも手に入る地域で特色ある道の駅が成り立つのか疑問です。他にも教育問題や地場産業の発展について視察しました。学んだことを、今後の議員活動にしっかり活かしていきます。



今年4月スタートした道の駅「よつて西土佐」は何年も前から、官民連携・協働し目的や将来の収支、商品売るだけでなく、道の駅が観光客のみならず住民の拠り所としての発展を目的に進められてきた。市川市でも外環の完成に伴い道の駅が計画されているが、はたして目的や将来に向けてのビジョンがあるのか。地方と違い、全国の物産もいつでも手に入る地域で特色ある道の駅が成り立つのか疑問です。他にも教育問題や地場産業の発展について視察しました。学んだことを、今後の議員活動にしっかり活かしていきます。

地域の夏祭り



市政アンケートにご協力ください

写真は南行徳のロータリー近くです。木の根が育ち、乗せてあった鉄板が持ち上がり、歩行者がよくつまづいていると聞きまわした。整骨院のまへの歩道です。隣の木も同じようになっていました。このように危険な場所はここだけでなく市内に点在しています。

日本共産党市議団が毎年行っています市政アンケートに、ご意見ご要望をお寄せください。どんなことでも結構です。みなさんのご意見をまとめ、市川市に要望しています。ふた掛け歩道も少しづつではありますが、改修されています。子どもにもご高齢の方も暮らしやすい市川をめざしてこれからもがんばります。



あ！危ない



ひとりごと：暑い夏を迎えると一つ歳を重ねます。今年は視察と重なりましたが、なんと5人の市議団のうち3人が8月生まれだと発覚。たくさんの方から誕生日メッセージをいただき、支えていただいていることを実感しました。ありがとうございます。 (左写真)。
ゴーゴー(55歳)さらにパワーアップしていきます。先日我が家で共産党94年記念講演のDVDを視聴しました。学ぶことの大切さをあらためて痛感し、このままでは命とくらしを守れない。地域の中で、市川市で何が発信できるか、また1年頑張ります。